

幼稚園だより

1月号

ちよだ



令和8年1月8日
千代田区立千代田幼稚園
園長 須藤 敏之

次のステップへの、大切な3学期

園長 須藤 敏之

新年あけましておめでとうございます。新しい^{うまだし}午年の始まりに、駿馬のような(?)子どもたちの元気な笑顔と明るい声が園に戻ってきたことを、職員一同とても嬉しく思います。

さて、3学期は一年のまとめであると同時に、次の成長へとつながる大切な学期です。短い期間ではありますが、日々の生活や遊びの中で、子どもたちは「できるようになったこと」や「わかったこと」を実感し、自信を積み重ねていきます。

3歳児ばら組の子どもたちにとっての3学期は、幼稚園が「安心できて楽しい場所」として心に定着する時期です。身の回りのことに自分から取り組み、先生や友達との関わりを喜ぶ姿が増えていくことでしょう。一人一人の育ちのペースを大切に、小さな挑戦や成功体験を丁寧に積み重ねていきます。

4歳児さくら組では、友達との関係が深まり、集団で過ごす楽しさと難しさを経験する時期に入ります。思いの違いからモヤモヤしたり葛藤したりする中で、相手の気持ちに気づき、自分の思いを言葉で伝える力が育つ時期でもあります。遊びや行事を通して協力する喜びや達成感を味わい、年長すみれ組への心の準備と土台を築いていきます。

5歳児すみれ組の子どもたちにとっての3学期は、幼稚園生活の集大成であり、小学校入学を控えた大切な就学準備の時期です。身支度や片付け、話を聞く姿勢、時間を意識した行動など、これまで培ってきた力を自分の力で発揮しようとする姿を大切にしていきます。また、自分の考えを言葉で伝えたり、友達の思いを受け止めたりする経験を通して、集団の中での関わり方をさらに深めていきます。就学準備というと「できること」に目が向きがちですが、ご家庭で何より大切にしていきたいことは、幼くかわいらしいこの時期(子どもはあっという間に大きくなります!後悔しないよう、今を大切に。)に親子で一緒に過ごす時間を意識してつくり、寄り添い、触れ合っていただきたいということです。話を聞いてもらった経験や、抱きしめられた安心感は、生涯に渡って子どもの心の土台となり、新しい環境へ向かう大きな原動力となります。

本園の目指す幼稚園像は「地域と共に、子どもも大人も自分の成長を感じながら、楽しい一日一日をつくろうとする幼稚園」であり、私たちは、子どもたちだけでなく、保護者の皆様や地域の皆様、教職員も共に成長を感じられる園でありたいと願っております。

本年も、皆様の温かなご理解とご協力を、心よりお願い申し上げます。



千代田幼稚園のホームページもご覧ください。